

令和 4 年度事業計画

新型コロナウイルス感染症は、国内ではワクチン接種や治療薬の開発、緊急時の医療体制整備が進んだことにより感染者は減少し、一時は収束に向かっていると思われましたが、令和 4 年に入って新たな変異ウイルスの感染が急速に拡大し、当地域は 3 度目のまん延防止等重点措置の対象区域となりました。

そのような状況の中での当センターの運営状況は、コロナの影響を大きく受けて落ち込んだ事業実績や会員数もようやく持ち直しの兆しが見えてきたところでの感染再拡大に、今後の状況が心配されるところであります。

当面はこれまで通り、コロナ禍という情勢を認識した上での的確に対応していくことが重要であります。

高齢者等の雇用の安定等に関する法律(高齢法)が改正され、70 歳までの就業機会確保が企業の努力義務とされたところでありますが、我が国が超高齢社会に向かって急速に歩みを進めている中で、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められており、そうした期待に応えていく必要があります。

急速な少子高齢化、全国的な人手不足、政府が進める高齢者就業施策を踏まえた上でシルバー人材センターとしては、今後の事業をしっかりと検討していかなければなりません。

当センターは、平成 28 年 4 月の合併時には、会員数 2,149 人、平均年齢 72.6 歳でスタートしましたが、近年はコロナの影響もありますが、会員数は減少し、また会員の平均年齢は合併当時から 2 歳ほど上昇している状況にあります。

現在の情勢を勘案した会員拡大の取組みは喫緊の課題となっています。

このような、センターの課題を把握するとともにセンターを取り巻く諸環境の変化を予測し、重点的に実施すべき施策を明確にし、センターの着実な発展を目指すことを目的とした「入間東部シルバー人材センター中期計画」を策定するため、令和 3 年度に中期計画策定委員会を立ち上げました。

計画期間は、令和 5 年度から令和 9 年度の 5 年間で、会員、特に女性会員の更なる拡大、新しい生活様式に対応した就業機会の確保やアフターコロナを念頭に置いたICTの活用等、実効性のある計画となるよう策定委員会で議論してまいります。

令和 4 年度においては、引き続き安定したシルバー人材センター運営に努め、会員の拡大、高齢者の雇用促進や多様な就業機会の確保を図り、また、会員が元気で安全に就業できるようフレイル予防に取り組んでまいります。

- 1 事故0を目指して、安全就業対策を進めます
 - ① フレイル予防のための会員向け健康体力測定を実施
 - ② 仕事別グループによる就業現場の安全管理の推進
 - ③ 安全委員会による就業現場の巡回による安全確認の実施
 - ④ 事故防止の意識啓発を目的として、傷害事故、賠償事故事例を安全だよりやセンターホームページ等で周知
 - ⑤ 安全担当者による作業道具、機材の使用方法、点検管理の推進
 - ⑥ 各種講習会の開催

- 2 シルバー人材センターらしい仕事を目指して、適正就業を推進します
 - ① 会員とセンター間における報告・連絡・相談の徹底
 - ② 仕事別グループ運営の指針による運営の自己チェックの推進
 - ③ 就業交替制度の新たな対象業種の検討、追加
 - ④ 請負・委任からシルバー派遣事業への切替えについて調査・実施
 - ⑤ 各種講習会の開催

- 3 あらゆる機会を通じて、就業機会を確保します
 - ① 定期的に営業会議を開催し、効果的な営業活動の展開
 - ② 指定管理者等、公共事業の着実な受託
 - ③ 家事援助事業の積極的な展開
 - ④ 新しい生活様式に対応して必要となる業務の発掘

- 4 強固な組織づくりを進めます
 - ① 令和5年10月開始のインボイス制度に対応した事業運営の検討
 - ② 女性会員の更なる拡大に向けた取組みの推進
 - ③ 現在の社会情勢に対応した効率的な組織運営について研究
 - ④ 実効性のある中期計画(令和5年度から5年間)の策定
 - ⑤ 財政基盤の確立

- 5 会員の融和を進めます
 - ① 現在の社会情勢に配慮した各種イベントの開催方法の検討
 - ② サークル活動の支援
 - ③ ボランティア活動の推進

- 6 積極的なPR活動を推進します
 - ① 各種行事への参加
 - ② センターのPRチラシ等の作成、活用
 - ③ 市町広報紙の活用
 - ④ 会員への事業運営状況の周知
 - ⑤ センターホームページの充実、ウェブ広報の導入等デジタル化の推進